

遠征の記録

平成17年11月～12月

11月20日水沢競馬場で行われた第5回阿久利黒賞(サラ3歳1600m)にディーズビバーチェ(佐々木仁厩舎)が遠征。佐藤博紀騎手鞍上で2番手に先行しましたが着。同レースには町田直希騎手もアルフリライズ(浦和)で参戦しましたが着でした。

ディーズビバーチェはこのレース後リフレッシュ放牧に出されています。

11月26日東京競馬第8競走(3歳上1000万下芝1400m)にクラキングレディ(高月賢一厩舎)が出走し着。同馬はつづいて12月17日中山競馬第8競走(3歳上1000万下牝芝1600m)にも参戦し着。いずれも鞍上は石崎隆之騎手。



12月4日中山競馬ターコイズステークス(3歳上牝OP芝1800m)にはテンセイフジ(八木仁厩舎)が挑戦しましたが後方追走着という結果でした。

「度胸のすわった馬だから周りを気にすることもなかったね。スタート出て位置どりはいつも通りなんだが、相手関係的に厳しかったんだろうね。試してみたかった芝も適性はありそうだよ」と騎乗した酒井忍騎手は適性を示唆。



12月17日中山競馬第10競走ひいらぎ賞(2歳500万下芝1600m)にチェリームーン(佐々木仁厩舎)が出走。内田博幸騎手を背に好位につき直線伸びて着に健闘しました。

「ずっと3番手につけていい競馬をしてくれた。ダートでもいい脚を使うが芝でも走ることがわかった」と佐々木仁調教師。

おつかれさま

平成17年11月退厩馬

河津	コスモベルモット	休養中	転厩
岩本洋	ザマビューティ	牝5	神奈川 廃用
田島	ワンダーブロッコ	牡4	群馬県 乗馬
八木喜	ダハールダンス	牝3	神奈川 乗馬
大和明	ケイアンドカフェ	牡2	神奈川 乗馬
佐々仁	グランドマックス	牡4	栃木県 乗馬
武井	エスプリアメリカン	牡2	神奈川 廃用
今井輝	キャリーストーン	牡5	神奈川 廃用
内田勝	グランドヒカリ	牝3	群馬県 乗馬
八木仁	ツヨシヨイヨイ	牡4	栃木県 乗馬
大和五	キョウエイマイサー	牝3	群馬県 乗馬
大和五	ノトシラユリ	牝4	群馬県 乗馬
長谷三	ノトプリンス	牡4	群馬県 乗馬
足立	ロイヤルオー	牡3	茨城県 乗馬
鈴木敏	ヤマショウクレーク	牡6	茨城県 乗馬
高月賢	スピリットトゥルー	牡3	長野県 廃用
足立	エテルネル	牝3	茨城県 乗馬
佐々仁	ニシノハナカザリ	牝4	茨城県 転厩
照沼	オオトリペリーナ	牝3	北海道 繁殖
鬼沢	ムテキパワー	牡8	福島県 乗馬
照沼	リンカーンブラッド	牡6	福島県 乗馬
照沼	カネショウシラネ	牝5	福島県 乗馬
八木仁	キーホーク	牡6	兵庫県 転厩
八木仁	ジャンサークル	牡2	東京都 廃用
村田	グリックメーデル	牝3	福島県 乗馬
村田	キタサンナボレオン	牡3	熊本県 転厩
山崎	ゴールドガンダム	牡4	群馬県 転厩
梅山	トーホウヒエン	牡3	福島県 乗馬
福島	ニノサキ	牡6	福島県 乗馬
池田孝	プリーマパルトナー	牝2	山梨県 乗馬
佐々吉	ハジメドリーム	牝3	神奈川 乗馬
河津	エイシンツヨシオー	牡6	岐阜県 転厩
秋山	エーテルフラッシュ	牡6	神奈川 乗馬
田島	サマーリゾート	牝3	群馬県 乗馬
河津	インヴァリッド	牡4	北海道 転厩

林隆之厩務員がベストドレッサー賞に輝く



11月23日、船橋競馬10Rではナドアルシバ競馬場カップが行われ、出走馬の中で一番きれいに仕上げられた馬の厩務員が表彰される【ベストターンアウト賞】と、最も好感もてる服装の厩務員が表彰される【厩務員ベストドレッサー賞】が行われ、リュウノウインの担当の池田孝厩舎、林隆之厩務員が受賞しました！！



衣装のポイントは池田厩舎のカラーである“赤”のネクタイ。ピシッときめたスーツに赤のネクタイが見事にマッチしていて、納得の受賞・・・と思いきや、林厩務員の感想は「人より馬(ベストターンアウト賞)のほうが欲しかったよ」と。確かにこの日のリュウノウインはタゲガミもきっちり編んでもらい、バンテージも決まっていた。人、馬とのダブル受賞はならなかったものの、普段の競馬ではなかなかもらえない賞の受賞に林厩務員に喜びの表情でした。

HAPPY BIRTHDAY 12月生まれ

青田正則厩務員(2日)	藤沢武志厩務員(2日)	梅山和則調教師(3日)
遠藤昇厩務員(3日)	橋階信夫厩務員(3日)	富士木和男厩務員(3日)
扇完全厩務員(4日)	小島由起夫厩務員(6日)	佐々木仁調教師(9日)
吉村徹厩務員(11日)	吉田栄厩務員(12日)	北村純一厩務員(13日)
田村由美厩務員(14日)	古沢悟厩務員(14日)	水久保敏美厩務員(14日)
渡邊幸樹厩務員(14日)	原田剛厩務員(15日)	金指博美厩務員(15日)
山田質厩務員(15日)	大隅信厩務員(16日)	堀哲也厩務員(16日)
森輝道厩務員(16日)	世安智也厩務員(19日)	高月由次調教師(20日)
久保ひろかず厩務員(24日)		

佐々木 仁 調教師



12月9日で42歳になった佐々木仁調教師。誕生日当日はお子さんが風邪ひいてしまい、残念ながらお祝いはおあずけだったそうだ。

馬の世界に入ったきっかけは「手に職をつけたい」という気持ちからだ。

手に職をつけることができ、小柄な体格であることを生かせるピッタリな職業といえば騎手。しかしながら育ったのは競馬とは縁のない環境。動物好きではあったが騎手学校に入るまで馬に触れたこともなかった。

騎手生活は初勝利・初騎乗は覚えているものの「乗っていたころはとにかく夢中だった」という。印象に残っているのはカネショウタイガー。乗り味がすごくよく、今振り返っても素軽さと柔らかさでは右に出るものはいなかったそうだ。

約18年の騎手生活から調教師になった。

騎手と調教師の違いは？と尋ねると「騎手は馬を早く走らせること。調教師はそれに馬作りがプラスされより難しくなった」と話す。

印象に残ってる馬はなんとといっても開業3年目に重賞をプレゼントしてくれたマルダイメグ。

「厩舎にいる馬に期待する気持ちはみんな同じ。少しずつ着をあげることを目標に1頭1頭が勝つことを期待してる。」

とにかく体調面を重視。馬は言葉を話せないけど少しでもわかってあげるようにすることが大事なのだ。「馬は大好き、でも好きだけではできない仕事」と話す。

休日はお子さんと遊んだり、牧場めぐりしたりゴルフしたりとフル稼働する充実の日々。

今後の目標は「少しずつ重賞を勝てる馬を作っていくたい」

今年の初めに別の企画で「ジルハーを東京ダービーに出走が目標」と話してくれ、ジルハーは東京ダービー出走を果たし、まさに有言実行だった。

* staff room *

振り返って一年。今年の川崎競馬にも色んなことがありましたが何よりのビッグニュースは来年のJCB開催決定でしょうか。川崎競馬を最高にアピールし先々につながる機会にしたいものです。川崎競馬倶楽部にとっては「川崎競馬倶楽部盃」という15年記念の大きなご褒美を頂戴した2005年のラスト開催。最後の最後まで盛り上がっていきましょう～

モエトレジャーが帰ってきました！ 今回の川崎が年末大井のオープン戦から始動予定だそうです。人懐っこく相変わらずの美男子ぶりです。年明けには僚馬ブルーローレンスも帰厩予定とのこと。また重賞戦線の活躍期待したいです。

楓

取材を終えて帰る時、ちょっと用事を思い出し山崎厩舎にお邪魔しました。そこで飼葉を食べている栗毛のとても可愛らしい馬に遭遇しました。あまりに気になって名前を尋ねたら「ハツツ」と言われました。個人的な話で申し訳ないのですが、中央時代(しかも数年前です)に私がPOGで指名していた馬だったので、一人で感激してしまいました。こんな身近なところにいたんだとうれしいやら、びっくりするやら。寒さも忘れて見入ってしまいました。

とら

11日に小向に取材に行った時、全日本2歳優駿に出走予定の北海道所属馬、モエレスーブラズとモエレスターダムに会えました。早々と小向に来ていて、こちらで調整をしているそうです。厩務員さんに少しお話を伺ったら、やっぱり北海道に比べるとこちらの寒さはまだいいほうみたいです。馬もそう感じているのでしょうか？2頭とも順調に調教をこなしているようでした。ちなみにもう1頭の道営出走予定馬のエイティジャガーは競馬場のほうで調整をしているようなのでこの日は会えませんでした。3頭とも早くからこっちで調整をしていて、万全の状態です。若い馬たちの戦い、来年を占う意味でも楽しみですね！

梅